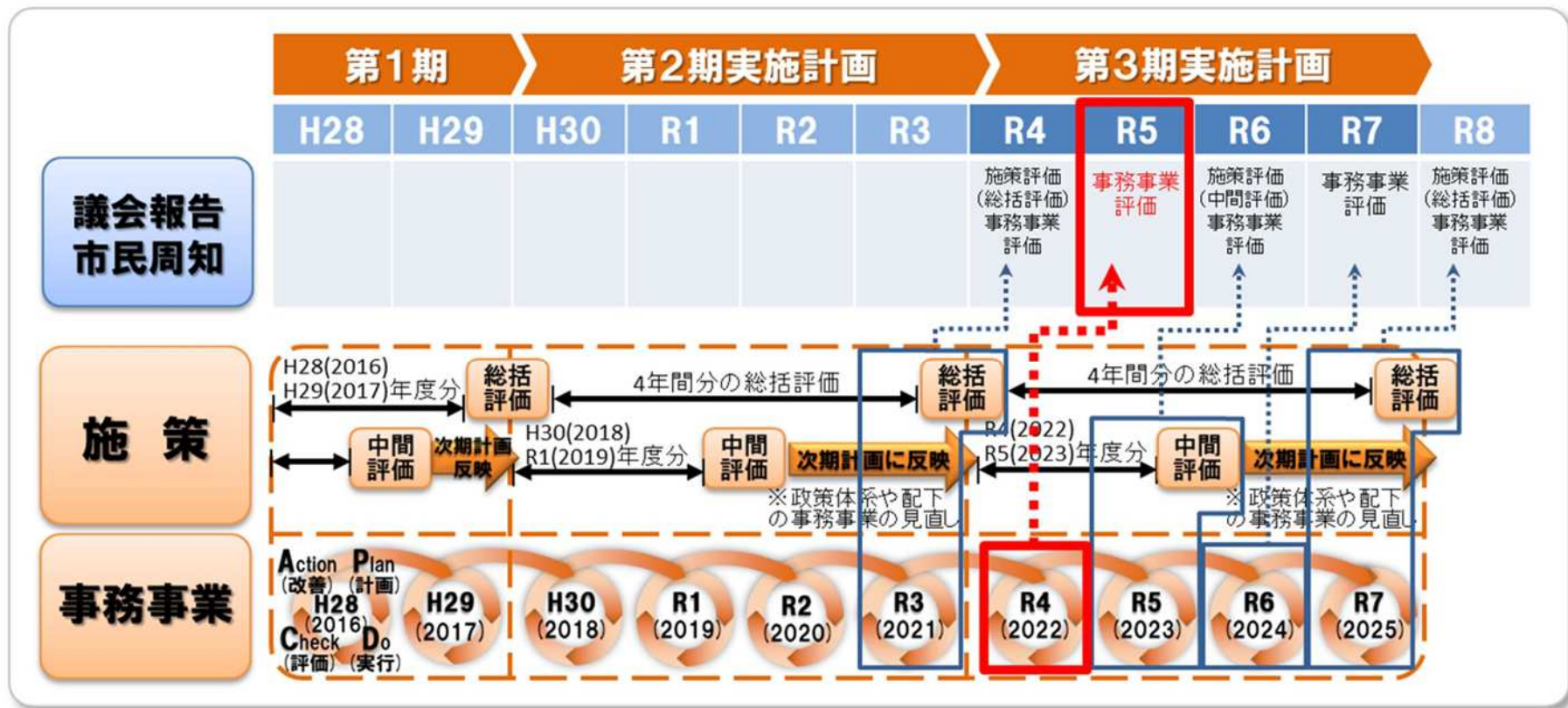


令和4年度事務事業評価結果(概要)

総合計画の評価スケジュール

第3期実施計画の計画期間の初年度に当たる令和4年度は、事務事業について内部評価を実施した。



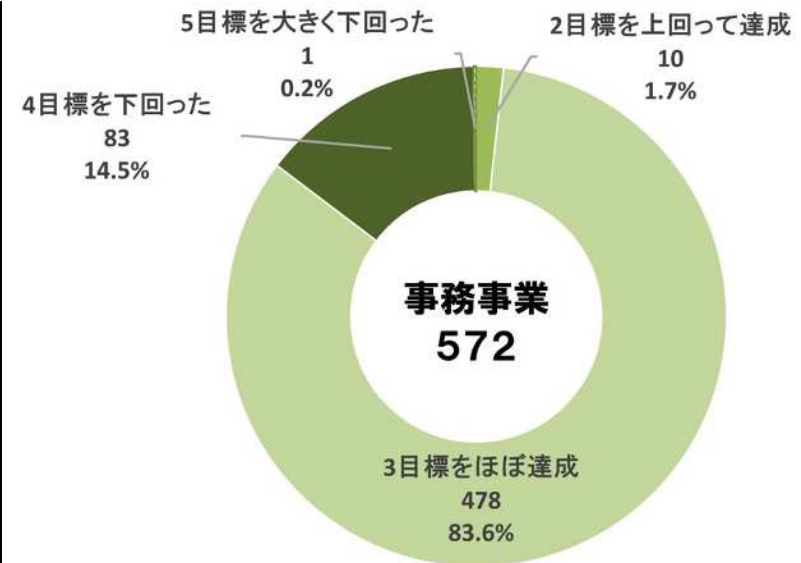
令和4年度事務事業評価結果の概要

- **達成度2（目標を上回って達成）及び3（目標をほぼ達成）の事務事業を合わせた割合は85.3%**であり、一定程度進捗している。
- **新型コロナウイルス感染症等による影響を前提**として、オンラインの活用など**コロナ禍に応じた様々な工夫や改善を実施**したこと等により、**最も影響を受けた令和2年度（74.6%）から年々改善**している（次ページ参照）。
- 感染防止対策に伴う施設の利用者制限、イベントの規模縮小、資材の供給不足に伴う工事の遅延等により、**一部、事業進捗に遅れが生じたもの**もあったが、そのような状況下においても、**様々な改善や工夫を図ることで、可能な限り事業を推進**している。

基本政策別 達成状況区分の内訳

達成状況区分	内容	基本政策	基本政策	基本政策	基本政策	基本政策	区分合計	割合
		1	2	3	4	5		
1 目標を大きく上回って達成	●目標に明記した期日より相当早く達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに大きく貢献した。 ●目標に明記した内容よりも相当高い水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく上回った。	0	0	0	0	0	0	0.0%
2 目標を上回って達成	●目標に明記した期日より早めに達成し、そのことによりコスト面や市民サービスに貢献した。 ●目標に明記した期日どおり達成し、明記した内容よりも高い水準であった。 ●目標に明記した数値を上回った。	1	2	2	5	0	10	1.7%
3 目標をほぼ達成	●目標に明記した期日、内容どおりに達成した。 ●途中で多少の遅れはあったものの、最終期限には間に合う形で、目標に明記した内容どおりに達成した。 ●目標に明記した数値とほぼ同じであった。 ●おおむね適正に処理し業務遂行に支障がなかった。	184	56	65	140	33	478	83.6%
4 目標を下回った	●目標に明記した内容は達成したが、期日が遅れた。 ●目標に明記した期日どおりであったが、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を下回った。 ●所定の期日に間に合わないなど、業務を適正に処理できなかった。	29	12	6	32	4	83	14.5%
5 目標を大きく下回った	●目標に明記した期日より遅れ、明記した内容に満たない水準であった。 ●目標に明記した数値を大きく下回った。	0	0	0	1	0	1	0.2%
合計		214	70	73	178	37	572	100.0%

達成状況区分別 件数・構成比



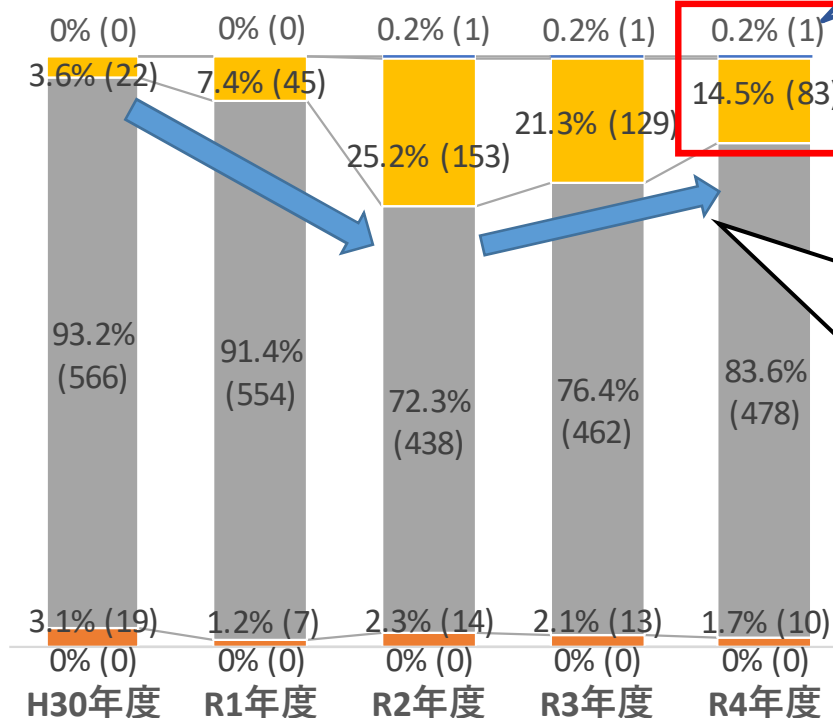
令和4年度事務事業評価結果の概要

達成度 4, 5 の事務事業のうち、**約 6 割が新型コロナウイルス感染症等の影響により事業の遅れ等が生じたもの**

- (例)
- 市主催イベントの中止や規模縮小による参加者の減少
 - 施設の人数制限等による利用者の減少
 - 業務休止や縮小等による相談件数や監視・指導数の減少 など

＜事務事業の達成状況区分＞

- 5 : 目標を大きく下回った
- 4 : 目標を下回った
- 3 : 目標をほぼ達成
- 2 : 目標を上回って達成
- 1 : 目標を大きく上回って達成



- 最も影響を受けたR2年度 (74.6%) から年々改善している状況。
- 5類移行後の社会経済活動の回復などによって、更に改善に向かう見込み。

全事業に占める2,3の割合 96.4% 92.6% 74.6% 78.5% 85.3%

コロナ禍に応じた創意工夫・改善を図った事例

コロナ禍に応じた様々な工夫等により、当初計画の目標を達成（達成度3）又は上回って達成（達成度2）した事例

No	事務事業コード	事務事業名	コロナ禍に応じた様々な改善・工夫の内容
1	10104140	消防音楽隊等活動事業	演奏活動（103件）はコロナ禍前に比べると少なかったものの、 動画を作成してオンライン配信や大型ビジョン等による広報を実施。
2	10201040	消費生活相談事業	オンライン相談の試行実施など、デジタル技術を活用して消費者がより相談しやすい環境の整備 と効率的な相談体制の検証、構築を推進。
3	20103020	母子保健指導・相談事業	新型コロナウイルス感染症への対応として オンラインも併用して両親学級を実施。感染症対策に加え、妊娠中の体調不良や里帰り時にも利用することができるため、今後も継続。
4	40101010	海外展開支援事業	新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した 越境 E C 等促進事業により、海外販路開拓に向けた支援等を行った結果、支援企業数が目標を上回り、多くのマッチング成果 が得られた。

事業進捗に遅れが生じた（達成度4）ものの、コロナ禍に応じた創意工夫や新たな取組を図った事例

No	事務事業コード	事務事業名	事業進捗に遅れが生じた要因及び改善・工夫した取組内容
1	20103050	わくわくプラザ事業	新型コロナウイルス感染症の影響で利用登録を控えた方が多かったこと等により、わくわくプラザの登録率は目標を下回り、 大人数で交流するイベントなどは十分に実施できなかったものの、リモートによる交流イベントや、一人でも楽しめる遊びを考案して実施するなど、コロナ禍ならではの事業の充実 に取り組んだ。
2	40802110	青少年科学館管理運営事業	年間来館者数は目標を下回ったが、 家庭でも科学館の魅力に触れてもらえるよう、「おうちで楽しむデジタル科学館」をホームページに掲載 するとともに、天文、動植物に関する情報を SNSにより積極的に発信。
3	40902010	観光振興事業	新型コロナウイルス感染症の拡大等による施設の受入縮小や訪日外国人の入国制限などの要因により、年間観光客数等は目標を下回ったが、 ナイトタイムエコミーの取組として、令和4年11月に川崎駅周辺にて初のナイトマーケットイベント「川崎夜市」を開催し、屋台・バルに76店舗出店 いただいたほか、 外国人観光客向けにPR動画を活用したデジタルマーケティングを実施。